

「携帯端末向けマルチメディア放送サービス等の在り方」  
に関する懇談会

質問事項へのご回答

2007年 12月 20日  
株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ



## 質問事項

## 回答

① 携帯電話ネットワークを用いた配信サービスの現状

(3Gネットワークで行っている映像、音楽、データ等のストリーミング、ダウンロードサービスの現状)

大項目	小項目	通信種別 通信タイプ	ストリーミング	ダウンロード	対応機種等
映像	iモーション	パケット/PULL	○	○	iモーション「ビデオクリップ」 10MB (2007.2～ F903iX、P903iX、904i・905i)
	Vライブ	テレビ電話	○	×	FOMA(らくらくホン、SIMPURE等一部機種除く)
	Music&Video チャンネル	パケット(定額 ユーザのみ)/ PUSH	×	○	動画対応:905i (夜間配信)
音楽	Music&Video チャンネル	パケット(定額 ユーザのみ)/ PUSH	×	○	旧:ミュージックチャンネル 音楽対応:905iシリーズ、N904i、903iXシリーズ、 L704i (夜間配信)
	うた・ほーだい	パケット/PULL	×	○	905iシリーズ、904iシリーズ、P704i
	着うたフル	パケット/PULL	×	○	905i・904i・903i・704i・703iシリーズ(P704i $\mu$ 、 P703i $\mu$ を除く)
	着うた/着モーション	パケット/PULL	×	○	FOMA(らくらくホン、SIMPUREの一部機種を除く)
データ等	iチャンネル	パケット/PUSH	×	○	905i・904i・903i・704i・703i・702iシリーズ等
	トクだねニュース 便	パケット/PUSH	×	○	FOMA(らくらくホンシンプル等の一部機種を除く)
	「エリアメール」	CBS/PUSH	×	○	905iシリーズ 緊急地震速報を配信

質問事項	回答
<p>② 御社におけるマルチメディア放送を含めた配信サービスの事業戦略</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 通信網のブロードバンド化等に伴い、映像・音楽配信サービスは多様化傾向</li> <li>● 携帯電話での動画視聴するユーザーは飛躍的に増加</li> <li>● 放送波による動画配信は圧倒的にコスト競争力があり、経済的に優れている</li> </ul> <p>→ 大多数ユーザーが求めるコンテンツなど、マスで配信した方が効率的なコンテンツは放送波、パーソナル、且つ今すぐに欲しいコンテンツ、放送コンテンツの補完的なデータなどは通信網で取得するというような<b>棲み分けが可能</b></p> <p>→ 有料放送コンテンツ配信の料金回収代行、暗号鍵配信などでの通信ネットワークを利用を想定</p>

質問事項	回答
<p>③ 次の事項に対する意見</p>	<p><b>1方式の方が将来の可能性が高まると想定</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 限定された帯域・容量を複数事業者で市場分割すると共倒れになる可能性</li> <li>● 複数の受信機能を搭載することは想定しにくく、さらに事業性を低下させる (チューナーチップが複数方式対応可能であっても、複数サービスに対応するためのアプリケーション開発工数、それに伴う試験工数等々の増大を鑑みた場合、端末のコストインパクトは極めて大きい)</li> </ul> <p>※ 携帯に載せることを想定すると、そのサービスが一過性で無いことを期待し、そのサービス／事業自体が健全に発展することを期待する</p>
<p>サービスエリアはどうあるべきか</p>	<p><b>携帯電話サービスと同等なサービスレベルが望ましい</b>が、ビジネスモデルに依存するため、現時点では判断できない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 携帯電話への搭載を想定すると、量産効果によるコストダウンは必須</li> <li>● 普及段階にあるワンセグと同様にサービスエリアが広く、多くのユーザに支持されていることが望ましい。</li> <li>● 移動体メディアのサービス性観点から、移動中であってもシームレスな受信が望ましい</li> </ul>

質問事項	回答
④ 次の事項に対する考え方	現時点では、カメラと同様に搭載されていないと端末が売れないというのに似た状況となっている。携帯電話ビジネスへの影響は、端末普及の面で影響があるが、新たなビジネスといった面では現時点では無い。
	通信事業者の立場からは、有料コンテンツの料金回収代行等の決済、鍵配信の通信利用などの面での可能性がある。但し、今後のマルチメディア放送のビジネスモデルに依存するため、現時点では、明確なコメントが出来ない。
御社において想定している技術方式以外の技術方式により、御社が想定しているサービスは提供できると考えるか。	<p><b><u>技術方式はあくまでも対応方針を決定する要件のひとつに過ぎない</u></b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● マルチメディア放送として提供されるサービス内容を議論する必要がある</li> <li>● 魅力あるサービスになるか、弊社のビジネスとして成立するのかを検討した上で、端末を含めた対応方針について決定していく</li> </ul>
資本関係のないマルチメディア放送事業者から、認証・課金のため、端末の仕様追加、業務委託、業務提携を求められた場合、どのような考え方によりそれに対応することとなるか。	<p><b><u>総合的に判断するが、資本関係のある事業者を優先して検討</u></b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 資本関係のない事業者が提供するサービスが弊社携帯ユーザにとって魅力あるサービスなのか、その受信機を載せることにより、端末の付加価値／魅力は高まるのか、ユーザが欲するものとなるか、などを検討。</li> <li>● 認証課金に関しては、資本関係のない事業者が提示する経済条件・加入者数、課金PF提供に掛かるにコスト等を考慮、採算が取れるかどうかを総合的に判断。</li> </ul>

質問事項		回答
<p>④ 次の事項に対する考え方</p>	<p>仮に複数の技術方式が採用された場合、どのような考え方により、対応する受信端末を扱うこととなるのか。</p> <p>資本関係の無いマルチメディア放送事業者から、対応する受信端末を扱うように求められた場合、どのような考え方によりそれに対応することとなるのか。</p>	<p><u>総合的に判断するが、資本関係のある事業者を優先して検討</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 端末のコストアップの観点から、複数方式に対応することは、きわめて高いハードルと認識</li> <li>● 仮に複数方式が採用された場合、弊社が想定する通信サービスとの親和性、どの方式が有利に弊社サービスを展開できるのか、経済性・採算性を含めて総合的に判断する</li> </ul>

